

10月23日(金曜日)「人を赦さないなら」

【新改訳 2017】

マタイ 6・14、15

「もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してください。しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。」

主イエスは、弟子たちに祈りを教えられた後に、冒頭のように説明を加えられました。このことには、大変重要な意味があると思われれます。私たちが、主の祈りをどれだけ真の意味で祈っているかを問われます。神の赦しを自分のためには祈っておりながら、自分に対する他人(隣人)の罪や負いめは赦さないとすれば、それは、まったく自分勝手な祈りでしかないのです。「もし人を赦さないなら、あなたも赦されません」と主は言われます。

これは、人を赦すことが、神が私たちが赦してくださる条件(根拠)であるというわけではありません。神は、人間の自己中心な、身勝手な考えや祈りの間違いを指摘し、正そうとしておられるのです。空しい祈りで満足しないよう気をつけましょう。

～祈り～

主よ。今一度、人を赦すべきこととその重大さを教えてください、感謝します。そのことが素直にできるように、また、身勝手な祈りで満足することがないように導いてください。

【学びのために】

ルカ 11・4 (20 日) 参照。